

七月六日、晴、己丑、

一今朝川村七郎左衛門殿・鎌田藤次郎殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ前嶋津清太夫殿入来、左候而同道いたし出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ半比より桂内記殿・同六郎次郎殿入来、且暮時分より青山善助殿ニ茂入来、酒肴一通振廻、四ツ時分追々被帰候事、

七月七日、曇、庚寅、

一四ツ時早目出勤、御機嫌同後頼合御暇ニ而帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

但今日之節句は

太守様御忌中ニ付、御祝義無之、伺御機嫌ニ而候、尤諸人互之祝義茂無之候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙七ツ後見廻候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿・鎌田喜平太殿入来、内江茂

被通酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一南村より年貫大明神江拙者異国舟御手当被仰付候ニ付而神楽誓願等修行いたし候守札今日相届候事、

一今日例年之通鎧虫ほしいたし候事、

七月八日、晴、辛卯 夜中雨、

一四ツ時過出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供川枝源七郎ニ而候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙八ツ後見廻候事、

一七ツ後祝井吉左衛門殿入来、鎧かざり方相頼暫候而被帰候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一嶋津豊後殿明後日江戸江出立ニ付(替)殘別として両種井ニ

源氏煙草一箱相送候、使角野喜左衛門ニ而候事、

一桂家御祖母様御入来、家内中生身魂祝いたし候事、

一今晚桂岩次郎殿宅会読式夜ニ而候へとも、毛利氏差支、

尤拙者ニ茂差支取止候事、

七月九日、曇、壬辰 間々雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一七ツ時分小野郷右衛門殿・栂山正圓殿鑑見として入来、暫相咄被帰候事、

一大鐘過より堀直四郎殿・和田中太夫殿・西田次郎太殿追々入来、酒肴一通振廻、九ツ過比被帰候事、

一七ツ後鎌田甚助殿一刻入来ニ而候事、

七月十日、曇、癸巳 間々強雨、

一今日は鳴津豊後殿江戸江出立ニ付、五ツ時分より義岡藏人殿同道ニ而参り、四ツ時出立ニ付夫より水上迄送りニ参り八ツ前帰家、供川畑源之助ニ而候事、

但御殿は終日別勤相頼置候事、

一七ツ後鎌田藤之丞殿入来、暫相咄被帰候事、

(鎌田政虎)  
一隆香様御忌日ニ付、福昌寺墓所江川枝源七郎代参申付候、且興国寺江も代参申付、両所共墓拵為致候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

七月十一日、雨、甲午 間々止、  
二百十日、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より鳴津考岐殿江嫡子勇馬殿今晝病死之由ニ付、悔として参り一刻対面いたし、夫より知覧浜屋敷江同席中出張ニ付参り、

左候而夜入五ツ時分帰家、供角野喜左衛門、後山次左衛門ニ而候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一役所迄夕方鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一番所詰川枝源七郎代り永山彦太郎今日出府之届申出土産差出候事、

七月十二日、晴、乙未、

一今日は終日別勤頼置出勤不致候事、

一八ツ前鎌田佳藤太殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

(鎌田正徳) 高章院様・高穂院様御忌日ニ付、南林寺墓所江角野喜

左衛門代参申付、且墓拵も為致候事、

一暮過より青山善助殿入来、用事有之四ッ過被帰候事、

一川枝源七郎今朝暇申出相帰候事、

一嶋津勇馬殿死去、葬式ニ付饅頭・酒差遣、使永山彦太

郎、且見立として焼灯一对差遣、使川畑源之助ニ而候

事、

七月十三日、晴、丙申、

一四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供永

山彦太郎ニ而候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参候事、

一御同人未御全快無之候付、前田圓心江申遣、二男圓節

見廻ニ而候事、

一青山善助殿亡父初精霊ニ付、野菜一折差遣、使山次左

左衛門ニ而候事、

一役人濱田休左衛門より素麵一台差出候、尤昨日野菜并

ニ紙為取候、且角野喜左衛門江も紙為取候事、

一七ッ後御位牌直上ケ方角野喜左衛門上下着用ニ而相勤

候、左候而拙者上下ニ而拜礼いたし候事、

七月十四日、雨、丁酉 間々晴  
半天

一今日より明日迄は盆ニ付出勤不致候事、

一九ッ時分鎌田喜平太殿・永山清兵衛殿入来ニ而候事、

一為霊膳上延寿堂小増参り、朝飯は拙者取次ニ而上ケ候

事、

一七ッ時分より延寿堂位牌所・福昌寺・興国寺墓所江参

詣、且新納四郎右衛門殿先日江戸より着、又々近日琉

球波海之管候付、右旁ニ付見廻大鐘過帰家、供川畑源

之助・山次左衛門、半天ニ付合羽籠為持候事、

一暮御精霊江向香拜礼いたし候事、

一嶋津老岐殿・中山次左衛門殿・青山善助殿所より菓子

到来ニ而候、右ニ付中山氏は野菜遣候事、

一南林寺墓所江角野喜左衛門代参申付候事、

七月十五日、晴、戊戌、

一四ツ後上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一為靈膳上ケ延寿堂小増参り、今日は家来共取次ニ而上ケ候事、

一七ツ後より南林寺墓所江参詣、香庵梅心大姉墓・桂家

御祖父様方墓江も参詣大鐘過帰家、供山次左衛門・

川畑源之助ニ而候事、

一暮前御精靈江向香拝礼いたし候事、

一嶋津老岐殿江亡勇馬殿初精靈ニ付、野菜一折差遣候、

使永山彦太郎ニ而候事、

一福昌寺・興国寺墓所并ニ正真軒江代参永山彦太郎江申

付候事、

七月十六日、晴、己亥、

一今早朝御位牌御位牌所江直し上ケ方川畑源之助上下着

用ニ而相勤候事、

一今日は頼遣候而出勤不致候事、

一四ツ時分藤野小兵衛御用向ニ付一刻入来ニ而候事、

一御か様御鍼ニ山本蘇仙見廻候事、

一大鐘過より桂内記殿・同六郎次郎殿・和田中太夫殿入来、且役所江相良清兵衛殿被参居候付、内江茂被通酒

肴一通振廻、九ツ過比皆々被帰候事、

一福昌寺・興国寺・南林寺墓所江為花替山次左衛門・

角野喜左衛門為参候事、

七月十七日、晴、庚子 暮時分より大風雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一八ツ後より高崎五郎右衛門殿・堀四郎左衛門殿・有馬

一郎殿追々入来、夕方より酒肴・飯一通振廻、左候処

風雨ニ而不被得帰皆々被泊候事、

七月十八日、晴、辛丑、

一今早朝堀氏并ニ外兩人被帰候事、

一今日は一番組中切支丹証印ニ而、於此方使者間証印、

書役藤野小兵衛、且小与頭一時替ニ而相勤候事、

一今日は終日別勤相頼置出勤不致候事、

一今朝青山善助殿用事ニ付入来ニ而候事、

一今朝鎌田吉左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ後小野郷右衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙參候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿・上村半兵衛殿入来、夜入内

江被通酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

一今ばん桂岩次郎殿宅会説式夜ニ而候へとも、些草臥居

候付断申遣候事、

七月十九日、晴、壬寅 夕方雷、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供永山彦

太郎ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

七月廿日、晴、癸卯 七ツ後雷雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一出勤跡桂岩次郎殿入来之由候事、

一大鐘過より堀直四郎殿入来酒肴一通振廻、四ツ時分迄

相咄被帰候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

七月廿一日、晴、甲辰、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一今朝伊作郷士末家篠原藤太郎・同七郎右衛門、来ル廿

八日諏方御神事社役勤ニ付差越候ニ付、外迄見廻届申

出、土産品差出候事、

一今朝中山才之丞殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後鎌田甚助殿一刻入来ニ而候事、

一今夕蒲生郷士末家鎌田三左衛門・同李兵衛・同六郎左

衛門社役ニ付差越候付、外迄見廻届申出土産差出候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も一刻被通候事、

一幕時分より和田中太夫殿入来酒肴一通振廻、四ツ時分

被帰候事、

七月廿二日、晴、乙巳、

一四ツ時早目出勤、八ツ前頼合御暇ニ而帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一七ツ時分より鳴津主税殿・岩城三左衛門殿・兒玉甚藏

殿入来、青山善助殿門人中入組之一件相談承候付、拙

者存慮之趣相達候処其通納得ニ而大鐘過被帰候事、

一大鐘過より二階堂主計殿宅江招候付参り、逢客川上式

部殿・同龍衛殿・宮之原主計殿等ニ而四ツ過帰家、供

山次左衛門、後永山彦太郎ニ而候事、

七月廿三日、晴、丙午、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供永

山彦太郎ニ而候事、

一七ツ後青山善助殿用事ニ付入来、大鐘時分被帰候事、

一大鐘時分森川孫八郎殿入来、暮時分被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙夕方見廻候事、

一役所迄鎌田喜平太殿夕方一刻入来ニ而候事、

七月廿四日、晴、丁未、

一今日は疝癩氣ニ而出勤不致頼遣候事、

一拙者不塩梅ニ付前田圓節江申遣七ツ後見廻ニ付薬用い

たし候事、

一役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一看経日ニ而濱田本覺院参り候事、

七月廿五日、晴、戊申 九ツ前より  
暫雨

一今朝前田圓節見廻ニ而候事、

一今朝桂岩次郎殿入来ニ而候事、

一今日は (鳥津寄形) 少将様御着城ニ付五ツ半過より出勤、九ツ過

被遊 御光着候付八ツ前頼合御暇ニ而帰家、供山次左衛門ニ而候事、

但矢来御門より御入ニ付右之場所江罷出 御目見いたし候事、

一森川孫太夫殿今日御供ニ而着之祝義として肴一折差遣候事、

一当分は西田橋御普請ニ付、此方門前少将様御通行ニ而候事、

七月廿六日、晴、己酉 八ツ後雨、無  
間茂止

一四ツ時早目出勤掛嶋津將曹殿昨日御供ニ而着ニ付、右為祝義内玄喚迄参り、左候而出勤八ツ後帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今朝青山善助殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ時分前田圓節見廻ニ而療治相頼候事、

一七ツ後より青山善助殿宅江参り、門人中ニ茂集会、尤是迄混乱之義有之候付、右取鎮方拙者存慮之趣申述候

処、何れも其通納得ニ而大鐘過引取相帰候、供永山彦太郎ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一暮時分より鎌田甚助殿入来酒肴一通振廻、五ツ過被帰候事、

七月廿七日、晴、庚戌、

一今朝青山善助殿入来ニ而候事、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一税所源左衛門殿今日転役ニ付、肴一折祝義として相送候事、

一大鐘時分森川孫太夫殿入来、暫相咄被帰候事、

一御か様御鍼ニ山本蘇仙今晚見廻候事、

七月廿八日、晴、辛亥 夜中雨、

一四ツ時早目出勤掛森川孫太夫殿江着之祝義として一刻

参り、夫より出勤八ツ後帰家、供永山彦太郎ニ而候事、  
(鎌田正芳)  
一 泰光院様御忌日并ニ淨連院殿忌日ニ付、南林寺墓所江  
(鎌田正純妹)  
山次左衛門代参申付候事、

一日當山年寄最勝寺作右衛門・与頭園田越右衛門・地頭  
横目園田喜太郎、其外郡見廻耆人、来ル八朔御祝義ニ  
付差越候由、尤 (島津齊彬) 少将様御着城御祝義ニ付而も兼差越  
兩種料并ニ土産物差出候ニ付受入候、八朔之御祝義は  
当分

(島津齊興)  
太守様御忌中ニ付流ニ被仰出、御用人座より昨日廻文  
ニ茂相成候へとも未相達内打立差越候段申出ニ付、右  
流ニ被仰出候段取次相良清兵衛殿より被申渡候様相達  
候、左候而八朔用ニ付持参いたし候土産之分は差出候  
付相受、兩種之義は不請入候、且家督養子成等之礼と  
して中紙料差出候而請入候事、

但八朔御祝義無之候付差越候役々暇申出候付差返候  
事、

一 役所江相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿七ツ後より入来、

清兵衛殿一刻内江被通候事、

一 今日諏方御神事社役相勤候蒲生郷土末家鎌田三左衛門  
・同李兵衛・同六郎左衛門、伊作郷土篠原藤太郎・同  
七郎右衛門、其外吉野・花棚・吉田家来共大鐘過役所  
迄参り勤方相济候首尾申出、頭殿仙香一包差出候、右  
ニ付飯差出候賦ニ而候処、急キ相帰候故不及其義候、  
尤拙者ニも他出跡ニ付不致対面候事、

一 大鐘過より桂岩次郎殿宅剣術稽古之場江出席、夫より  
毛利理右衛門丈出会、講義之式夜ニ而候処出席無之候  
付五ツ時分帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

七月廿九日、晴、壬子 夜九ツ過 地震

一 四ツ時早目出勤、八ツ後帰家、供山次左衛門ニ而候  
事、

一 昨日諏方居頭役相勤候鎌田平左衛門より、此方より手  
鐘・挟箱借物被致候礼として着一折被遣候事、

一 南村役人名代役人格組頭勤神田榮右衛門、家中相中西

牟田六右衛門・神田六郎八朔祝義として出府之届申出候、併当年は

太守様御忌中ニ而八朔御祝義流ニ被仰出候付、祝義は不相請段役人休左衛門を以申渡候事、

一大鐘時分より和田中大夫殿入来、且役所江鎌田喜平太殿・相良清兵衛殿入来、夜入内江も被通酒肴一通振廻八ッ過被帰候事、

七月晦日、晴、癸丑 ひがん入、

一四ッ時早目出勤、四ッ後頼合御暇ニ而帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一南村役人格神田榮右衛門家中相中同六郎・庄屋代西牟田六右衛門より八朔祝義ニ付持参いたし候種物等祝義は不相請候付、為伺機嫌両種料・土産物差出候事、

一御か様御不快未御全快無之候付、いし朝稻三益殿江今日より相頼、今晚六ッ過入来ニ而酒肴一通菓子振廻、五ッ時分被帰候事、

但是迄前田圓心殿ニ而候へとも

(島津貞久)  
大中様江相伺之上朝稻方へ相頼候事、

一暮過堀直四郎殿・森川孫八郎殿入来ニ而候へとも、いし入来之央ニ付相断候事、

一嶋津老岐殿より亡勇馬殿四拾九日・百ヶ日法事吹聴有之候付、饅頭・酒差遣候、使角野喜左衛門ニ而候事、

八月朔日、晴、甲寅、

一四ッ時より出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一今朝永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一今日は御祝義等御流ニ被仰出候付、地頭所并ニ南村之者共、祝義等都而不相受何事も平日通ニ而候事、

(鎌田政近)  
一玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江代参永山彦太郎江申付候事、

一鎌田藤之丞殿より肴一折被送候事、

一八ッ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被通、

南村より申出候段々之書付等被致披露事、

一 当秋中取藏下代田嶋直助・川村十右衛門調申出候付、

直助江申付可然、旨清兵衛殿江相達候事、

一 神田榮右衛門其外今日用向相仕廻暇申出候而相帰候事

一 大鐘比上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 御家老衆島津石見殿江被召付、山川出張被仰付置候拙者共人数、琉球異国船等出帆ニ付、先引取今日被仰渡

候事、

八月二日、晴、乙卯、

一 四ツ時早目出勤掛嶋津左岐殿江旁之礼ニ参り候義有之

一刻参、左候而出勤、八ツ後帰家、供川畑源之助ニ而

候事、

一 今日は (島津齊彬) 少将様南林寺・千眼寺江御参詣有之、此方門

前御通ニ而候、尤五本御道具ニ而候事、

一 (鎌田正統玄) 桂光院正忌日ニ付、南林寺墓所へ永山彦太郎為参候事、

一 八ツ過桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後より鎌田為兵衛殿入来ニ而候、尤水引中宿ニ付

兩日跡被参候由ニ而土産物等被送候、左候而暮前被帰

候事、

八月三日、晴、丙辰 朝之内雨、秋分、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 本城源七郎殿先日御供ニ而着候付、肴一折為祝義相送

候事、

一 大鐘時分より桂内記殿入来、跡より和田中大夫殿ニ茂入来、酒肴一通振廻、九ツ時分被帰候事、

八月四日、晴、丁巳 四ツ時分より雨、九ツ比大降後止、

一 四ツ時より出勤、八ツ後帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一 今朝税所源左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 鎌田為兵衛江蠟燭式拾挺相送候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

八月五日、曇、戊午 四ツ前大雨、夫より半天、

一四ツ時より出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一春峯様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而向香拝(鎌田政統)

礼いたし候、且興國寺墓所江代参山次左衛門江上下着用ニ而申付候事、

一八ツ後より役所江相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一七ツ後和田六郎殿一刻入来ニ而候事、

但源太兵衛殿剣術星帳被差出候付見届、尚又出精有之候様相達候事、

八月六日、半天、己未、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一御か様御病氣未御全快無之候付、いし朝稻三益殿方へ昨日申遣置候処、弟子太山周庵今朝見廻ニ而候事、

一今朝青山善助殿一刻入来ニ而候事、

一大鐘過鎌田筑左衛門殿入来、且役所江相良清兵衛殿被参居、内江茂被通酒肴一通振廻、五ツ半比被帰候事、

八月七日、晴、庚申、

一今朝堀直四郎殿一刻入来ニ而候事、

一今日は終日別勤之筋頼合出勤不致候事、

一四ツ後より相良清兵衛殿入来、同道いたしいしき別業

江参り、尤宮里新助殿近日京都藏役ニ而出立之管故残(徳)

別相企、跡より右新助殿・堀直四郎殿・森川孫八郎殿

・堀萬右衛門殿・上井甚七殿追々被参、何れも弁当持

寄ニ而此方よりも弁当并ニ飯振廻、歌読旁ニ而夜入四

ッ過比帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一今朝橋口助右衛門殿江用向ニ付申遣一刻入来ニ而候事

但小野強右衛門殿剣術星帳、跡月より見届候筋ニ而

先日被差出候付、助右衛門殿ニは強右衛門殿弟之事

候間、右星帳相渡折角出精有之候様相達候事、

一横山嘉八郎殿塩ぶた一台被送候事、

八月八日、晴、辛酉、

一 今朝宮里新助殿暇乞ニ一刻入来ニ而候事、

一 今朝兒玉助太郎殿江用向ニ付申遣一刻入来ニ而候事、

但西田方示現流内稽古星帳月々見届候筋相究、跡月

星帳先日被差出候付見届、右助太郎宅座元之由候付

折角出精有之候様、尤星帳江支多面々は別段沙汰い

たし置候事、

一 四ツ時出勤、八ツより知覽浜屋敷江同席中出張ニ付差

越、左候而夜入過帰掛宮之原主計殿同道いたし候処、

迫田甚助殿宅江被誘、暫立寄四ツ前帰家、供山次左

衛門、後永山彦太郎ニ而候事、

一 役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

八月九日、雨、壬戌 間々止、

一 四ツ時出勤、八ツ前御家老衆嶋津石見殿・若年寄衆喜

入多門殿御殿江御下ニ付、右江相勤八ツ後帰家、供角

野喜左衛門ニ而候事、

一 宮里新助殿今日京都江出立ニ付肴一折相送候、右ニ付

京都(鎌田政近)玄朗様御墓取始抹相頼置候、菅井勇藏江花香料と

して金子百疋差登セ、役人休左衛門より書状相添、新

助殿江届方相頼候事、

一 大鐘過より土持孫兵衛殿・青山善助殿・中山次左衛門

殿追々入来、尤善助殿流義大炮来月初旬御家老衆御見

分、御内実は

少将様御遠馬掛御立寄ニ而御視有之模様候付、右手当

向旁談合いたし候、左候而吸物・酒肴一通振廻、九ツ

時分迄相咄被帰候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 大鐘時分和田中太夫殿一刻入来ニ而候事、

八月十日、曇、癸亥 間々雨、

一 四ツ時早目出勤掛二階堂主計殿江青山善助締方御断内

意候付一刻参り、夫より嶋津兔毛殿先日当番頭御側御

用人勤江転役ニ而預見廻候付、右礼祝義旁として内玄

喚迄参り、左候而出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

一隆香様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而向香拝

礼いたし、且福昌寺墓所江代参上下着用ニ而山次左

衛門江申付候事、

一大河平小左衛門殿より田舎土産ニ付肴一折被送候事、

一今日島津老岐殿より島津市十郎取次ニ而左之通承知い

たし候、

鎌田刑部

右は来年十一月

頼朝公六百五拾年御法会、花尾山於御社頭御執行ニ

付御用掛被仰付候条可申渡候、

八月 老岐

一大鐘時分より永山新八郎殿入来、跡より上井甚七殿、

且相良清兵衛殿ニ茂入来、吸物・酒肴・飯一通振廻候

而、四ッ時分迄相咄被帰候事、

八月十一日、曇、甲子 間々雨、

一四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆御下より帰家、供永

山彦太郎ニ而候事、

一御か様未御平快無之候付、いし朝稻三益門弟江申遣、

田山周庵見廻ニ而候事、

一八ッ後青山善助殿・土持孫兵衛殿入来ニ而候、尤青山

氏炮術ニ付石火矢并ニ台判被作方ニ付今日

御側より金被相下候由、右之内八拾七両暫拙者預置具

候様遮而相談承候付預置、左候而無程被帰候、右ニ付

預書左之通善助殿江遣置候、

金八拾七両

右炮并ニ台判被作候付、被相下候内として預置候、為

御心得如此 以上、

八月十一日 鎌田刑部

青山善助殿

〔朱書〕  
「本文金子午九月廿六日青山善助殿・土持孫兵衛殿受取ニ被参

候ニ付、都而儘ニ引渡、預書之義は此方江相受取候事、」

一 甲子祭ニ付濱田本覺院参り候事、

一 相良清兵衛殿今日より他行之由ニ而今朝役所迄被参候事、

一 暮時分より中山次左衛門殿入来、酒肴一通振廻、九ツ時迄相咄被帰候事、

八月十二日、雨、乙丑 間々止

一 四ツ時出勤、八ツ星御暇いたし四ツ後より (鎌田正昌 高章院様)

御正忌日ニ付、南林寺墓所江参詣、左候而九ツ過帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

一 今朝御位牌所江上下着用ニ而向香拜礼いたし候事、

一 七ツ後森川孫八郎殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一 大鐘時分堀四郎左衛門殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

一 役所迄上村半兵衛殿夕方入来ニ而候、尤清兵衛殿旅跡内用向相頼置候事、

八月十三日、晴、丙寅、

一 今朝青山善助殿用向ニ付一刻入来ニ而候事、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 森川孫八郎殿今日より旅行ニ付菓子一包相送候事、

一 御か様御針ニ山本蘇仙見廻候事、

一 七ツ後東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

一 八ツ後家村平六殿入来ニ而此方馬乗廻しニ被出候処、

梅ヶ淵辺ニ而落馬被致怪我候由、七ツ後被帰参候、併

少之事ニ而暫保養いたし被帰候事、

一 川井田清右衛門大鐘比参り候事、

一 暮時分青山善助殿用向ニ付申遣一刻入来ニ而候事、

一 大鐘時分より大河平小左衛門殿入来ニ而、日入時分迄相咄被帰候事、

八月十四日、曇、丁卯 八ツ時分より雨、

一 今日とは別勤之筋頼遣出勤不致候事、

一家村平六殿江昨日怪我見廻として馬役角野喜左衛門差遣候事、

詰衆之内  
鎌田刑部

一八ツ後毛利理右衛門殿入来七ツ時分迄相咄被帰候事、

右之通就皆勤

一七ツ後より和田中太夫殿・桂内記殿入来、夜入和田源

御褒美被

太兵衛殿ニ茂入来、吸物・酒肴一通振廻、四ツ過比被

思召上候、

帰候事、

右御格之通可申渡候、

一御か様御針ニ山本蘇仙八ツ前見廻候事、

八月十五日 杓岐

右之通承知、左候而八ツ後御家老衆御下より帰家、供

八月十五日、晴、戊辰、

山次全左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

一四ツ時早目出勤、於御書院

但星御褒美御礼廻は首尾御家老衆御用人迄ニ而明日

少将様佐土原使者江  
(島津齊彬)

江延置候事、

御目見被仰付候付席詰いたし、且嶋津杓岐殿より入来

一今朝永山清兵衛殿、拙者出勤跡入来之由候事、

院平馬殿取次ニ而御用昨日承知いたし居候処、左之通

一御か様御針ニ夕方山本蘇仙參候事、

承知いたし候、

一大鐘時分より桂内記殿・和田中太夫殿・鎌田筑左衛門

天保五年年より同八酉年迄相続四年皆勤、

殿・毛利理右衛門殿・堀直四郎殿追々入来ニ而月見い

御小姓与頭番  
御用人兼務

たし酒肴一通振廻、歌詠等いたし候而八ツ時分迄相咄被帰候事、

但内記殿ニは孫五百鶴殿召列入来ニ而候、左候而暮前ニは五百鶴殿ニは被帰候事、

八月十六日、晴、己巳、

一四ツ時より出勤、御殿江

少将様被為入候付、八ツ前より別勤ニ而差越、八ツ過御入有之御家老衆嶋津石見殿・嶋津將曹殿、若年寄喜入多門殿、大目付嶋津中務殿被相詰候、掛り御用人嶋津市十郎・拙者ニ而御通掛 御目見いたし候、左候而大鐘時分御馬乗等其外御覽事相済御帰殿被遊候付帰家 供永山彦太郎ニ而候事、

但拙者共上下着用ニ而候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来ニ而候事、

一和田源太兵衛殿塩ぶた一台・泡盛二瓶被送候事、

八月十七日、曇、庚午 四ツ後暫雨、

一四ツ前出勤掛島津老岐殿江一昨日星御褒美之御礼とし

て参り一刻対面いたし、左候而出勤八ツより帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ時分青山善助殿用向ニ付一刻入来ニ而候事、  
一今晚御か様御鍼ニ山本蘇仙参り候事、

八月十八日、曇、辛未 暮前雨、

一四ツ時より出勤、八ツ後帰家、供川畑源之助、後山次 柰左衛門ニ而候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江茂一刻被通候事、

八月十九日、晴、壬申 夕方雷雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山

次柰左衛門ニ而候事、

一八ツ後御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一七ツ後鎌田藤之丞殿入来、暫相咄被帰候事、

一日當山組頭最勝寺宗之丞

少将様御着城ニ付

太守様江之為御祝義差越、七ツ後役所迄参り兩種料并ニ土産物差出候事、

八月廿一日、晴、甲戌、

一今朝湯治甚之丞殿一刻入来ニ而候事、

一右地頭所参候付而上村源七殿一刻入来ニ而候、尤相良

一今日は終日別勤之筋頼遣出勤不致候事、

清兵衛殿・鎌田喜平太殿旅行跡取次源七殿江相頼置候

一九ツ過より青山善助殿宅江一刻参り、夫より伊敷別荘

事、

江参り暮时分帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一大鐘时分より有川藤左衛門殿入来、夜入五ツ時分迄相

一役所迄夕方上村半兵衛殿入来ニ而候事、

咄被帰候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一鎌田藤之丞殿重之内并ニ泡盛一瓶被送候事、

八月廿日、曇、癸酉、

八月廿二日、晴、乙亥、

一四ツ時出勤、四ツ後より八ツ星別勤ニ而演武館和田源

一今日もちと家用之義ニ付頼遣出勤不致候事、

太兵衛、梅田勘十郎流義不時見分として出席、同役は

一幕时分より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻九ツ過被

而候事、

帰候事、

一八ツ前より飯牟禮八郎殿入来、八ツ過迄相咄被帰候事、

一梅田勘十郎殿江此内家来共入門為致候礼として肴一折

一八ツ後より穎娃織部殿入来、近比天山流炮術打立候付

相送、使角野喜左衛門ニ而候事、

ため方等被致七ツ後被帰候事、

一大鐘過鎌田筑左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

八月廿三日、晴、丙子、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一七ツ後御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一御か様御療治方ニ朝稻三益殿江申遣、門弟土橋恕心七

ツ後見廻ニ而候事、

一暮時分より上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、五ツ過被届候事、

八月廿四日、曇、丁丑、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供永山彦

太郎、後角野喜左衛門ニ而候事、

一青山善助殿炮術来月初旬 (島津高彬) 少将様御視有之筈ニ而、今

日谷山中塩屋ニおひて御家老衆右之下見有之、拙者ニも出張呉候様承候へとも、家来川畑源之助・山次左

衛門迄差遣候事、

一御か様御針ニ八ツ時山本蘇仙参り候事、

一看経日ニ而濱田本覺院参り候事、

八月廿五日、雨、戌寅、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候、尤日當山年寄兒玉村

右衛門老体ニ付勤方断申出候旨承候付、今一往養生い

たし候様被相下可然申達候事、

一今朝鎌田政十郎殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ時出勤、四ツ後より演武館大山角太郎・有川彦左衛門・白尾金左衛門流義不時見分として菱刈全之介殿

同道ニ而出席九ツ時分帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一御か様御鍼ニ山本蘇仙夕方参り候事、

一今晚堀氏祖母お岩殿入来ニ而候事、

八月廿六日、晴、己卯 朝立曇、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次左

左衛門ニ而候事、

一八ツ後毛利理右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後桂岩次郎殿入来、大鐘時分被届候事、

一御か様未御快気無之候付、いし朝稻三益殿江申遣候処

七ツ後見廻ニ而候、左候而茶菓子一通差出候事、

但迎加籠差遣候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙八ツ前見廻候事、

一暮時分より二階堂主計殿宅江招ニ付参り、逢客諏訪數

馬殿・税所笑春院殿等ニ而四ツ時分迄相咄帰家、供山

次左衛門、後永山彦太郎ニ而候事、

一森川孫太夫殿より今朝江戸土産被送候事、

八月廿七日、晴、庚辰、

一四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇ニ而青山善助殿宅江堀直

四郎殿同道参り、外ニ稻留藤左衛門殿・土持孫兵衛殿

等被参、来月初旬

御家老衆御見分

少将様御視ニ付而之規定等相究壁書いたし置、其外旁

申談、左候而八ツ過帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ時分迫田甚五左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一七ツ後濱田本覺院参り候事、

一梅田勘十郎殿流義鎗術、和田中太夫殿取次ニ而家来永

山彦太郎誓詞相頼、七ツ後中太夫殿入来ニ而於使者間

誓詞血判為致、左候而内江被通酒肴一通振廻、九ツ前

比被帰候事、

八月廿八日、晴、辛巳、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供永山彦

太郎ニ而候事、

一泰光院様御忌日ニ付、南林寺墓所江角野喜左衛門代参

申付候事、

一桂内記殿宅江方祭ニ付参り候様被申越候間、七ツ後よ

り桂岩次郎殿入来ニ而同道いたし参り、四ツ前比帰家、

供永山彦太郎ニ而候事、

一今晚御か様御針ニ山本蘇仙参候事、

八月廿九日、晴、壬午、

一今日は誓詞別勤ニ而五ツ時御目付大山彦左衛門出席、

御用人座書役和田龍左衛門・大久保半助参り相勤候事、

但誓詞人黒木横目宗門方掛ニ而候事、

一御か様御針ニ夕方山本蘇仙参り候事、

一御同人様未寸切と御快気無之候付、いし朝稻三益門弟

江申遣候而、田山周庵七ツ後見廻ニ而候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

九月朔日、晴、癸未、

一四ツ時早日出勤、四ツ後頼合御暇いたし 玄朗様御正

(鎌田政近)

忌日ニ付福昌寺墓所江参詣、左候而九ツ半比帰家、供

山次左衛門ニ而候事、

一玄朗様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而向香拜

礼いたし候事、

一出勤跡永山清兵衛殿入来之由候事、

一御か様御針ニ山本蘇仙九ツ後参り候事、

一七ツ時分より頼娃織部殿入来ニ付同道いたし、青山善

助殿宅江参り、大鐘過帰り掛柙木ば、諸木苗御仕立場

江見物として参り、桂内記殿・和田中太夫殿ニ茂新上

橋より同道ニ而参、夫より頼娃氏并ニ桂氏・和田氏ニ

茂此方へ被参、吸物・酒肴一通振廻、四ツ過比皆々被

帰候事、

但供山次左衛門ニ而候事、

九月二日、晴、甲申 晝より雨、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後より青山善助殿宅江諸差引として参、暮前帰家、

供川畑源之助ニ而候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様御針被成候事、

一夕方留主ニ鎌田筑左衛門殿入来之由候事、

九月三日、雨、乙酉 八ツ後より晴、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供永山彦

太郎ニ而候事、

一七ツ時分青山善助殿一刻入来ニ而候、尤炮術 御視一件ニ付用向有之申遣被參候事、

一七ツ時分山本蘇仙参り御か様御鍼被成候事、

一暮時分より長崎源吾殿・木脇休左衛門殿入来、酒肴一

通振廻、四ツ時分被帰候事、

九月四日、晴、丙戌、

一今日は終日別勤相頼出勤不致候事、

一今日は於谷山中塩屋、青山善助殿炮術来ル十六日七日

天氣次第御視之打試ニ付、四ツ後より桂岩次郎殿宅江

参り同道いたし出張、諸差引等いたし、左候而夜入過

打立四ツ前比歸家、供永山彦太郎、外ニ川畑源之助・

山次左衛門稽古方ニ差越候事、

一役所迄上村半兵衛殿入来之由候事、

九月五日、雨、丁亥、

一今朝四ツ時法允宇左衛門殿入来ニ而候事、

一四ツ二丸下ニ而打切出勤、八ツ後御家老衆退出より歸家、供川畑源之助ニ而候事、

一御か様未御快氣無之候付、朝稻三益殿門弟へ申遣、土橋忍心七ツ後見廻ニ而候事、

一暮過より土持孫兵衛殿・法允宇左衛門殿、岩城三左衛

門殿・二木清兵衛殿・中江八左衛門殿・野津次郎左衛

門殿・家村彦九郎殿・中原休左衛門殿・長崎源吾殿・

河野正右衛門・兒玉助次郎、右人数青山善助殿流義一

件相談之趣有之入来、四ツ前比迄相咄被帰候事、

一七ツ後桂岩次郎殿入来、暫相咄被帰候事、

九月六日、晴、戊子、

一今朝青山善助殿流義之義ニ付相談として入来ニ而候事

一四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇いたし歸家、供山次左左

衛門ニ而候事、

一同席中須崎射場ニ而鉄炮矢先争企有之、八ツ前より出

掛嶋津清太夫殿宅江一刻参、夫より出張暮過帰家、供角野喜左衛門、後永山彦太郎ニ而候事、

九月七日、晴、己丑、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一八ツ後堀四郎左衛門殿入来、七ツ過迄相咄被帰候事、

一大鐘前より嶋津清太夫殿入来、同道いたし青山善助殿

宅江参り 御視ニ付而之諸差函等いたし五ツ半比帰家

供永山彦太郎ニ而候事、

一役所迄夕方上村半兵衛殿入来ニ而候事、

九月八日、曇、庚寅、

一四ツ時出勤、八ツより帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一今日は谷山中之塩屋ニ而青山氏炮術 御視之試打習礼

等有之、参り候様承候へとも不出張候事、

一七ツ後仁禮善左衛門殿入来、大鐘過迄相咄被帰候事、

一七ツ後山本蘇仙参り御か様御鍼被成候事、

一同役宮之原主計殿来ル十四日江戸立之筈候付、為(德)残別

蠟燭四拾丁・肴一折相送候事、

但使角野喜左衛門ニ而候事、

九月九日、曇、辛卯 五ツ半比より雨、

一今日は(島津齊彬)少将様御対面所江御出座、御一門方より諸士

諸組与力迄 御目見被仰付、五ツ半比より出勤、御礼

席江罷出候、左候而九ツより退出帰家、供山次左衛

門・永山彦太郎ニ而候事、

但諸士 御目見人数六計有之候事、

一今日之祝義として鎌田政十郎殿・永山清兵衛殿・市来

清十郎殿・鎌田藤之丞殿・同氏吉左衛門殿・上村半兵

衛殿・同源七殿・東郷孫八殿・池水荒次郎殿・志和地

源兵衛殿・榊休左衛門殿追々入来ニ而候事、

一七ツ後より頼娃織部殿宅江招ニ付参、逢客嶋津要人殿・

桂内記殿等ニ而夜入五ツ半比帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

但本行ニ付着一折相送候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様御鍼被成候事、

九月十日、雨、壬辰 夜前より風雨、

一今日は終日別勤之筋相頼置候付出勤不致候事、

一大鐘時分より桂六郎次郎殿入来、左候而和田中太夫殿

江申遣入来ニ而酒肴一通振廻、七ツ時分被帰候事、

九月十一日、晴、癸巳、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一八ツ後山本蘇仙参り御か様御鍼被成候事、

一幕過より中山次左衛門殿入来、酒肴一通振廻、八ツ時

分迄緩話いたし被帰候事、

一今朝宮之原主計殿来ル十四日江戸立ニ付為暇乞玄喚迄

被見廻候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江茂一刻被通候事、

九月十二日、晴、甲午、

一今日は終日別勤之筋頼合出勤不致候事、

一高章院様・高穩院様御忌日ニ付、南林寺墓所江永山彦

太郎代参申付候事、

一四ツ後より桂岩次郎殿宅江参り同道いたし、谷山中塩

屋江青山善助殿大炮打方稽古ニ付参り、八ツ過未相済

候へとも引取大鐘時分帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一今夕嶋津將曹殿宅江招ニ付、大鐘時分より桂内記殿宅

江江寄同道いたし参り、外ニ島津相馬殿・島津隼見殿・

島津權五郎殿・穎娃織部殿等ニ而候、左候而夜入四ツ

時分帰家、供山次左衛門、後永山彦太郎ニ而候事、

但初而参候付改服ニ而参り候、尤両種相送候事、

一御か様未御平快無之候付、医師朝稻三益門人江申遣田

山周庵、拙者留主ニ見廻ニ而候事、

一 今晚役所迄相良清兵衛殿入来之由、尤田舎より昨日帰り之由候事、

九月十三日、曇、乙未 間々雨、

一 四ツ時早目出勤掛島津將曹殿宅江昨夕之礼として参り対面いたし、左候而出勤、八ツ退出より宮之原主計殿明日江戸立ニ付暇乞として玄喚迄見廻帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 七ツ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被通候事、

一 大鐘比より青山善助殿宅江参り暮前帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一 暮前長友正一郎殿入来、歩行具足借用被致候事、

九月十四日、晴、丙申、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一 九ツ後山本蘇仙参り御か様御針被成候事、

一 七ツ後より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿・上村半兵衛殿追々入来ニ而酒肴一通振廻、九ツ時分被帰候事、

九月十五日、晴、丁酉、

一 四ツ時出勤、四ツ後より演武館東郷藤兵衛・白尾金左衛門流義不時見分として、(鎌田正甫)い十院直殿同道出席、夫よ

り南林寺墓所江正源院様御忌日ニ付参詣、左候而島津清太夫殿江、青山善助殿炮術一件ニ付用向有之参り八

ツ後帰家、供永山彦太郎ニ而候事、

一 今日御家老島津將曹殿より御用人島津權五郎取次ニ而左之通被仰付、同席新納主税殿名代被承候由八ツ後相達候、

一 異国船掛

一 御兵具方掛

鎌田刑部

右掛宮之原主計此節致出府候付、罷下迄之間右之通掛  
寄被仰付候条可申渡候、

九月 將曹

一今朝永山清兵衛殿拙者出勤跡入来之由候事、

一八ッ後山本蘇仙參り御か様御針被成候事、

一番所詰永山彦太郎代、森田清九郎今朝出府之届申出土  
産物差出候事、

一大鐘時分鎌田筑左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

九月十六日、晴、戊戌、

一今日於谷山中之塩屋ニ

少将様、成田正右衛門・青山善助・小山田眞藏炮術

御遠馬掛御立寄 御視ニ付、青山氏流義諸差引として

暁七ッ時打立出張、大鐘時分三流共都合能相済候付引

取五ッ時帰家、供永山彦太郎ニ而候、外ニ川畑源之助

・山次左衛門、拾刃打方ニ付出張候事、

一今晚山本蘇仙參り御か様御針被成候事、

一拙者異国掛ニ付而は中塩屋江は勤ニ而出張之筈候へと

も青山氏諸差引いたし候付、御棧敷之勤は鳥津市十郎

殿江相頼候事、

九月十七日、晴、己亥、

一四ッ時出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供永山彦  
太郎、後山次左衛門ニ而候事、

一八ッ後毛利理右衛門殿入来、七ッ半比被帰候事、

一大鐘過山本蘇仙參り御か様被成御鍼候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一大鐘過より堀直四郎殿入来、暮前より同道いたし二階

堂主計殿宅江招ニ付参り、外ニ中山次左衛門殿・有川

十右衛門殿・税所笑春院殿等ニ而候、左候而四ッ過比

帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一今夕永山彦太郎暇申出南村之様相帰候付包物為取候事

九月十八日、晴、庚子、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より頸娃織部殿宅江  
青山善助殿流義一件ニ付用向有之一刻參り帰家、供川  
畑源之助ニ而候事、

一今朝長崎源吾殿・家村彦九郎殿、青山氏一件ニ付一刻  
入来ニ而候事、

一長友正一郎殿今朝一刻入来、去ル十四日借用之具足被  
返候事、

一今朝鎌田藤之丞殿入来ニ而候事、

一昨夕小根占郷士礮藏玄喚迄見廻、火繩九曲差出候  
付、右挨拶として使川畑源之助今日差遣包物相送候事、

一御か様未御平快無之候付、朝稻三益門人江申遣、田山  
周庵七ツ時分見廻ニ而候事、

一七ツ後より桂岩次郎殿入来、同道いたし青山善助殿宅  
江参り、先日炮術 御視之節門人中江金子七百疋被成  
下候付、右を以御酒一通ツ、頂戴、余金は私申受置以  
来之稽古用ニ相備候筋申談、明日八ツ後より善助殿宅  
江差越一杯ツ、頂戴之筋ニ相究置候、左候而無程帰家、

供森田清九郎ニ而候事、

一夕方役所迄上村半兵衛殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、

九月十九日、雨、辛丑、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆御下より帰家、供森  
田清九郎ニ而候事、

一八ツ後桂岩次郎殿入来同道いたし、青山善助殿江門人  
中先日炮術 御視之節頂戴之金子を以、御酒頂戴ニ付  
参り暫候而帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一七ツ後山本蘇仙参り御か様被成御鍼候事、

一足輕恒吉喜作近日江戸立之由暇乞として外迄参り候付  
煙草一包、肴一折相送候事、

一相良清兵衛殿今日より又々旅行之由、外迄拙者出勤跡  
暇乞ニ被参候事、

(島津齊興)

一太守様来春御下国之上肝付表御光越、南村之内も御通  
行之筈ニ而此節御役々廻勤有之、都合宜見分事等相濟  
候旨南村役々より届申出候、尤仮屋江 御小休被為在

御内定之段永田新八郎殿より今日於御殿承候事、

九月廿二日、晴、甲辰、

九月廿日、曇、壬寅 四ツ時より晴、  
立冬、

一四ツ時出勤、四ツ後より演武館鈴木彌藤次・篠崎七郎

左衛門・梅田勘十郎流義不時見分として出席九ツ時分

帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一大鐘過より和田源太兵衛殿・仁禮善左衛門殿入来、酒

肴一通振廻、四ツ時分迄相咄被帰候事、

一足輕吉原太郎事ちと手筋悪敷義共有之候段、役人休左

衛門より申出候付、為折鑑手鎖卸置候様申付候事、

九月廿一日、曇、癸卯 間々雨、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次左

左衛門ニ而候事、

一夕方役所江鎌田喜平太殿入来、内江も被通酒肴一通振

廻、四ツ前比被帰候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様御針被成候事、

一四ツ時出勤、八ツ少前頼合退出より嶋津清太夫殿宅江

参り、尤青山善助殿高弟中集会ニ而夜入九ツ時分帰家、

供川畑源之助、帰りは山次左衛門ニ而候事、

但清太夫殿江昨日兩種相送候事、

一山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

九月廿三日、晴、乙巳、

一四ツ時出勤、八ツより帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一今日は方祭ニ而親類知人之方相招、七ツ後より追々入

来之人数、桂内記殿・穎娃織部殿・島津清太夫殿・小

森八左衛門殿・鎌田曾兵衛殿・西太郎兵衛殿・上村源

七殿・東郷孫八殿・鎌田吉左衛門殿・鎌田喜平太殿、

并ニ島津清太夫殿家内之衆ニ而候、左候而吸物二ツ・

酒肴・飯振廻、五ツ過追々被帰候、尤銘々より肴一折

ツ、被送候事、

但西氏は初而緩々入来ニ而候事、

一 足輕吉原太郎事、手筋悪敷義ニ付去ル廿日手鎖為御置候処、今日迄三日ニ相成候間差免、尚又叱置以来之義為申聞置候様喜平太殿江相達候事、

九月廿四日、曇、丙午 間々雨、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一看経日ニ付濱田本覺院参り候事、

一 役人濱田休左衛門昨日より産穢ニ付穢今日より差免出勤いたし候事、

一 御家老衆島津將曹殿より御用人島津藤十郎取次を以今日左之通承知、

鎌田刑部

右は新納衛守家来春口小八遠島申付、便船迄之間入牢申付置候処、致牢死死体無御構段申渡候書付、書役助平田直之介江為致取扱候処、向々帳面消相洩候を氣不

相付大形之旨差扣相伺候へとも不及御咎目候、向後可入念候、

右可申渡候、

九月 將曹

一 八ツ過仁禮善左衛門殿入来、七ツ時分迄相咄被帰候事、  
一 七ツ過大河平小左衛門殿入来、大鐘比被帰候事、

一 暮前鎌田筑左衛門殿入来、酒肴一通振廻、五ツ半比被帰候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

九月廿五日、晴、丁未、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一 八ツ後毛利理右衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一 大鐘時分上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ後市来十左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一暮時分より青山善助殿入来、五ツ時分桂六郎次郎殿ニ  
茂入来、酒肴一通振廻、四ツ時分兩人共被帰候事、

九月廿六日、晴、戊申、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老長詰御用無之御座は退出ニ  
付帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一九ツ後より島津老岐殿家内おてつとの被參候由ニ而暮  
過被帰候事、

一大鐘前より桂岩次郎殿宅江参り、夜入五ツ時分迄相咄  
帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、  
一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

九月廿七日、晴、己酉 間々曇、

一四ツ時早目出勤、四ツ後より演武館鈴木彌藤次・篠崎

七郎左衛門流義不時見分として島津要人殿同道ニ而出  
席九ツ前帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一大鐘前より仁禮善左衛門殿・永山良助殿・鎌田休作殿  
入来、夫より毛利理右衛門殿・和田中太夫殿ニ茂入来、

尤良助殿・休作殿義は初而入来故上下着用ニ而肴等被  
送候付、酒肴・吸物・茶漬一通り振廻、四ツ過比何れ  
も被帰候事、

一大鐘時分鎌田筑左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一夕方役所迄鎌田喜平太殿入来ニ而候事、

一八ツ過青山善助殿・土持孫兵衛殿入来、此内善助殿よ  
り預置候炮台製作八拾七両之金子、今日都而相受取  
被帰候事、

九月廿八日、晴、庚戌、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜  
左衛門ニ而候事、

一今朝永山良助殿・東郷孫八殿、一刻ツ、入来ニ而候事、  
一大鐘時分家村平六殿入来、暫相咄被帰候事、

一 今晚鎌田喜平太殿一刻入来ニ而候、尤明日より旅行之由候事、

一 今晚桂岩次郎殿宅会読式夜ニ而候へとも、故障有之断申遣候事、

九月廿九日、晴、辛亥、

一 今日は頼遣候而出勤不致候事、

一 四ツ後より桂岩次郎殿入来、同道いたし伊敷飯屋江参り、唐辛為取方等いたし、左候而跡より桂内記殿・和田中太夫殿被参酒肴等振廻、夜入五時分打立四ツ前帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

九月晦日、曇、壬子、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 南村より初取納百五拾俵余相届候事、

一 夕方より役所江上村半兵衛殿入来、夜入内江茂被通酒肴一通振廻、四ツ時分被帰候事、

十月朔日、曇、癸丑 八ツ過より小雨、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老方退出より帰家、供森田清

九郎ニ而候事、

一 今朝税所源左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 今朝留主ニ永山清兵衛殿入来ニ而候事、

一 玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所江山次左衛門代参申(鎌田政近)

付候事、

一 夕方役所江上村半兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

一 今夕桂林院殿被成御入来候事、

十月二日、晴、甲寅、

一 今日は終日別勤相頼出勤不致候事、

一 今日は和田源太兵衛殿門弟中より於谷山町、上井甚七

殿江殘<sup>(懸)</sup>別企有之、四ツ後より桂岩次郎殿入来ニ付同道

いたし、同内記殿江相誘夫より谷山之様出張、左候而  
日入過打立夜入五ツ過帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一御か様余程御快候へとも未御平快無之候付、朝稻三益  
門人江申遣置候処、田山周庵拙者留主ニ見廻之由候事、

十月三日、晴、乙卯、

一今日は湊川源左衛門大炮於谷山中之塩屋遠丁打ためし

有之、御家老衆嶋津石見殿・嶋津壱岐殿遠馬掛御見分  
ニ付、五ツ前出馬ニ而出張相勤四ツ時分相濟、夫より

<sup>(懸眼)</sup>  
じげん寺江御兩人共参詣ニ付拙者ニも参り、左候而谷

山町立宿ニ而大鐘過打立御引取ニ付一所ニ打立暮前帰  
家、供川畑源之助ニ而候事、

但弁当重一組為持候、尤谷山年寄組頭より着入ひれ  
籠一ツ差出候事、

十月四日、晴、丙辰 間々曇、

一今日は此辺 <sup>(島津賢彰)</sup>少将様御鷹野被遊候事、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜  
左衛門ニ而候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来、夜入内江被通酒肴一通  
振廻、四ツ時分被帰候事、

一今日桂林院殿御入来被成候事、

<sup>(藤田正勝)</sup>  
一龍吟院様御忌日ニ付、南林寺墓所江山次左衛門代参  
申付候事、

十月五日、晴、丁巳、

一四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇いたし、先師川上十郎左  
衛門殿追前之馬寄南林寺下於新場有之、嶋津藤十郎殿

棧敷江出張大鐘過相濟帰家、供山次左衛門ニ而候事、  
但此方馬も出し家村平六殿被乗候事、

一暮前より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿江申遣入  
来酒肴一通振廻、九ツ時分被帰候事、

一 今晚青山善助殿宅江參管中山次左衛門殿江約束いたし

置、次左衛門殿此方へ相誘為被參由候へとも拙者未馬

寄より不帰内ニ而、左候処又々内記殿坏被參候故断申

遣候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様御針被成候事、

十月六日、晴、戊午、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清

九郎ニ而候事、

一 南村より二度目之取納百六拾俵程相届候、且財部抱地

取納米六俵程相届候事、

一 夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

十月七日、晴、己未 九ツ過より雨、後止

一 今日は支配下宅容貌見分前ニ而小与一番より三番迄之

人数見分いたし、四ツ時進達掛相良一郎左衛門・書役

東郷孫八入来相勤候事、

一 今朝小与頭田原十太郎ニ才共聊一件ニ付一刻入来ニ而候、尤内済ニ而相済候義ニ而内分承置候事、

一 今朝永山清兵衛前条同断ニ付一刻入来ニ而候事、

一 大鐘時分より森川利右衛門殿・永田新八郎殿・橋口空

左衛門殿・税所源左衛門殿・上井甚七殿追々入来、橋

口氏は初而被參、永田氏・上井氏は近日江戸立ニ付殘

別咄ニ而吸物一ツ・酒肴・茶漬振廻、且亭主振として

小森八左衛門殿入来、四ツ半時分何れ茂被帰候事、

但橋口氏より肴一折被送、森川氏より塩ぶた一体被

送候事、

一 今晚客人ニ付柳之穂いけ方榊山正圓殿江相頼七ツ後入

来ニ而候事、

十月八日、曇、庚申 朝五ツ過より雨、後止

一 今朝湯地甚之丞殿一刻入来ニ而候事、

一 今朝森川孫太夫殿一刻入来ニ而候事、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野喜

左衛門ニ而候事、

一橋口左衛門殿江昨夕肴被送候礼として使川畑源之助  
差遣候事、

一今日より玉葉たんす調方として大工大山與左衛門頼入  
候事、

一今晚桂岩次郎殿宅会読式夜ニ而候へとも、青山氏江差  
越旨ニ而毛利理右衛門丈江断申遣候事、

一書院後のし立廻取繕として大工山本新兵衛頼入今日よ  
り参り候事、

一大鐘時分より青山善助殿宅江参り、門人中五六輩相集  
り吟味之趣有之、尤弁当持寄ニ而八ツ時分迄相咄帰家、

供森田清九郎ニ而候事、

一夕方役所迄上村半兵衛殿入来ニ而候事、

十月九日、曇、辛酉、

一今日は郷誓詞別勤ニ而五ツ過御目付寺田平右衛門御用  
人座書役助野津藤左衛門・大久保半助出役ニ而候、右

ニ付出勤不致候事、

但誓詞人い十院郷士年寄助阿多善太夫・重郷士年寄  
助有馬藤左衛門・高江郷士年寄宗門方掛有馬周兵衛

ニ而候事、

一七ツ後大河平小左衛門殿入来、暫相咄被帰候事、

一夕方役所江上村半兵衛殿入来、夜入内江も被通酒肴一  
通振廻、四ツ前比被帰候事、

一明日御用人座同席相招筈ニ而今日より料理人相頼参り  
候事、

一八ツ後より川井田清右衛門参り候事、

一濱田本覺院明日より南村江差越候由暇ニ参り候事、

一今朝鎌田甚助殿一刻入来ニ而候事、

一去ル七日月船様御忌日ニ付、興国寺墓所へ代参不申付

候間、今日森田清九郎代参申付候事、

十月十日、曇、壬戌、

一今日は頼遣候而出勤不致候事、

一今朝上井甚七殿一刻入来、尤明後日江戸立之由暇乞ニ而候事、

一今日客人ニ付川井田清右衛門加勢として四ツ時より参り候事、

一客人ニ付いけ花樺山正圓殿江相頼四ツ後入来ニ而候事  
一八ツ前中山次左衛門殿入来暫ニ而被帰候、尤青山善助

殿炮術台場等之一件ニ付被参候事、

一八ツ前永田新八郎殿明後日江戸立ニ付、暇乞として一刻入来ニ而候事、

一八ツ後より御用人同席相招入来之人数、嶋津權五郎殿・嶋津要人殿・嶋津市十郎殿・川上龍衛殿・新納主税殿・嶋津藤十郎殿・入来院平馬殿・二階堂源太夫殿・

小笠原轍殿・伊集院喜左衛門殿、亭主振桂内記殿・小森八左衛門殿・上村半兵衛殿・永山清兵衛殿・東郷孫八殿、且御用人座書役い東清之丞殿・横山嘉八郎殿・湯地甚之丞殿・敷根仲次郎殿・上村源七殿、左候而塩吸物掛盃取かわし相濟、味噌吸物・硯ふた二枚・鉢さ

しミ・井物二ツ・鴨なべもの・小井物二組種々、中菓子かす平・薄焼饅頭、飯、引菓子高麗餅、引肴小鯛、右之通ニ而夜入六ツ半時分何れも被帰候、尤小森氏・

上村氏は早目より入来、諸都合セ話被致候事、

但同席中一統より肴一折被送候、且何れも平服ニ而入来ニ付拙者ニも平服ニ而相迎座付、着替之挨拶いたし候事、

一同席伊勢雅樂殿当分湯治ニ付、右之場所江菓子・引肴相送候事、

一相良清兵衛殿昨夜田舎より帰り之由ニ而今晚入来ニ而候事、

十月十一日、曇、癸亥 後晴、

一今朝湯地甚之丞殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ時早目出勤、八ツ少前帰家、供山次李左衛門ニ而候事、

一七ツ時分より桂内記殿江相誘、磯御茶屋前ニ而

(島津齊彬)

少將様花火被遊 御覽候付、右見物として下之濱江出張、進達掛立宿江参り見物いたし候、尤顯娃娃織部殿・

桂六郎次郎殿・河野甚助殿列合ニ而候、左候而四ツ前

比相濟帰家、供川畑源之助ニ而候事、

但弁当一通持参いたし候事、

一永田新八郎殿明日江戸立ニ付蠟燭三拾挺・肴一折、上

井甚七殿同断ニ付肴一折相送候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今日亥の日規式毎之通家内中相居り候事、

一八ツ後家村平六殿乗馬一件ニ付入来ニ而候事、

十月十二日、曇、甲子 後晴、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇いたし、

(鎌田正昌) (鎌田正峰)  
高章院様・高穂院様御忌日ニ付南林寺墓所へ参詣、九

ツ半比帰家、供角野喜左衛門ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十月十三日、曇、乙丑、

一四ツ時出勤、八ツより須崎山の射場ニ而同席中铁炮有

之出張、暮前相濟六ツ半比帰家、供川畑源之助、後山

次左衛門ニ而候事、

一今朝税所源左衛門殿用向ニ付一刻入来ニ而候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一今夕留主ニ鎌田甚助殿入来ニ而候事、

十月十四日、雨、丙寅、

一今朝森川孫太夫殿・鎌田藤之丞殿一刻ツ、入来ニ而候

事、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清

九郎ニ而候事、

但明十五日より 少将様山川表海岸防禦之場所 御

巡見ニ付、御内証之伺 御機嫌申上候事、

一 八ツ後小森八左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 七ツ前上村半兵衛殿入来ニ而候事、

一 暮前より和田中大夫殿入来酒看一通振廻、四ツ前被帰

候事、

一角野喜左衛門事、拙者同席い十院喜左衛門殿江差合有

之候侍藤兵衛と改名、今日役人休左衛門を以申付候事、

十月十五日、晴、丁卯、

一 四ツ時早目出勤、御礼後御暇いたし帰家、供山次左左

衛門ニ而候事、

一 今日去ル十日 (海津吉敷) 淨國院様御百回忌御法事被為濟候御

祝義惣出仕ニ而候事、

一 少将様今日四ツ時御供揃ニ而山川表海岸防禦之場所御

巡見として御光越被遊候事、

一 四ツ後より和田中大夫殿入来同道いたし、妙国寺江無

参和尚法式有之、右覗として参り左候而七ツ時分相濟、

飯振廻有之大鐘過帰家、尤改服ニ而参候、供山次左左

衛門ニ而候事、

但鳥津清大夫殿ニも被参候付清大夫殿相中より野菜

一 折・酒一樽和尚江相送候事、

一 留主ニ鎌田甚助殿入来之由候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 南村より三度目之取納百俵相届候事、

一 今朝永山清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

十月十六日、晴、戊辰、

一 今日四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一 今早朝鎌田甚助殿入来ニ而候事、

一 八ツ過より桂岩次郎殿入来、七ツ過被帰候事、

一 七ツ時分より仁禮善左衛門殿入来、大鐘時分被帰候事、

一 七ツ後和田中大夫殿一刻入来ニ而候事、

一 大鐘過より桂岩次郎殿宅江和田源太兵衛殿剣術式日ニ

付出席、左候而暮過迄相咄帰家、供川畑源之助、後山次左衛門ニ而候事、

一 永山良助殿より肴一折被送候事、

一 先日同席客人之節、頼娃織部殿より花瓶借用ニ付、今日相返礼として肴一籠遣候事、

十月十七日、晴、己巳、

一 四ツ時出勤、四ツ後より演武館和田源太兵衛・田代惣次郎流義不時見分として義岡藏人殿・菱刈奎之介殿同道ニ而出席九ツ時帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 八ツ前より桂岩次郎殿入来、同道いたし伊敷別業江参り、日入前打立暮時分帰家、供森田清九郎ニ而候事、

但家内子共ニも参り唐芋取ニ而候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 去ル十一日より今日迄毎日家村平六殿此方馬乗方として被参候事、

十月十八日、曇、庚午 夕方より雨、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一 八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 大鐘過鎌田吉左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 暮時分より桂岩次郎殿宅江論語会読式夜ニ付参り、毛利理右衛門丈・長谷場助七殿来会、左候而五ツ過帰家、供川畑源之助、後森田清九郎ニ而候事、

十月十九日、晴、辛未、

一 四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 八ツ後遠慮赦免八木新兵衛遠慮御当葛西四郎大江申渡月番より被相頼候付、於宅申渡、席詰御目付檢見崎四郎御用人座書役湯地甚之丞参り相勤候、尤四郎太ニは病氣ニ付名代新兵衛江申渡候事、

一八ツ後永山良助殿入来、暫相咄被帰候事、

一暮時分より桂六郎次郎殿入来、酒肴一通振廻、九ツ前比被帰候事、

一七ツ後鎌田甚助殿一刻入来ニ而候事、

一今朝既より鼎(鎌田正純女子)ちと不快ニ有之医師前田圓心殿江申遣、

一嫡子圓齋五ツ時分見廻ニ而候、拙者ニも疝癩氣故療治相頼薬用いたし候、尤鼎義は昼時分より快候事、

一鎌田甚助殿より身脇差天国と銘有之候を預置候処、似セ銘之筋段々吟味も承候付、今日角野藤兵衛江為持差返候事、

十月廿日、曇、壬申 八ツ時分より少雨、

一今日は頼合出勤不致候事、

一御か様未御平快無之候付、いし朝稻三益江申遣門人士橋恕心七ツ後見廻ニ而候事、

一暮時分より大河平小左衛門殿・和田中太夫殿追々入来、酒肴一通振廻、小左衛門殿は五ツ半比被帰、中太夫殿

は九ツ時分迄相咄被帰候事、

一今晚御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

十月廿一日、晴、癸酉、

一今日四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一今晚御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

十月廿二日、晴、甲戌、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一八ツ後御か様御針ニ山本蘇仙参り候事、

一夕方より役所迄上村半兵衛殿・相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一大鐘時分より仁禮善左衛門殿・和田源太兵衛殿追々入来、酒肴一通・雑吸振廻候而四ツ時分迄相咄被帰候事、

十月廿三日、晴、乙亥、

一今日は終日別勤頼置出勤不致候事、

一八ツ後より御兵具方与力足輕柔術、西田稽古所ニ而見

分いたし、伊勢雅樂殿同道出席、七ツ後見分相濟帰家、

供山次左衛門ニ而候事、

但御兵具方掛ニ付右之通見分いたし、書役財部傳左

衛門・上井甚兵衛召列候事、

一九ツ前桂六郎次郎殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ後鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候事、

一南村庄屋竹之内平之進島代銀訴訟ニ付、昨日出府之届

申出候事、

一八ツ前税所笑春院殿一刻入来ニ而候事、

一富山傳内左衛門殿江此内より織屋反物申受方ニ付度々

セ話ニ預り候付、右礼として肴一折相送候事、

一夕方より役所江相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一南村島代銀、石ニ付四拾五匁ツ、申渡有之候処、不熟

ニ付三貫文ツ、之訴訟申出候間、三匁下りニ而四拾貳

匁之筋申付候而は如何可有之哉之旨吟味之趣、役人休  
左衛門より承候付其通ニ而可然申付候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十月廿四日、晴、丙子 大鐘過より  
雨少雷鳴

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一南村庄屋竹之内平之進より土産物差出候事、

一南村より四度目之取納百拾九匁相届候事、

一大鐘時分より和田源太兵衛殿宅劍術稽古之場へ出席、

夫より緩々相咄四ツ時分帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一夕方より役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十月廿五日、曇、丁丑 間々少雨

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一青山善助殿山川表 御巡見御供より一昨日被帰候由、

今日は緩々参兵度旨嫡子弓太郎殿を以被申越候へとも  
断申遣候事、

一七ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一泰心院様御忌日ニ付、南林寺墓所へ角野藤兵衛代参申  
候事、

十月廿六日、晴、戊寅 間々少雨、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清  
九郎ニ而候事、

一大鐘過より和田中太夫殿・久保喜藏殿・桂内記殿・同  
六郎次郎殿追々入来、且役所江相良清兵衛殿被参居、

内江も被通酒肴振廻、九ツ時分何れも被帰候事、  
一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十月廿七日、曇、己卯 間々雨、

一四ツ時早目出勤、四ツ後御家老衆嶋津石見殿・若年寄  
衆末川久馬殿御殿江御下りニ付、右江嶋津市十郎殿両

人相勤九ツ後相済帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一大鐘過より税所笑春院殿・同氏悦之進殿・堀直四郎殿

・諏訪數馬殿追々入来、吸物一ツ・酒肴・雜吸振廻、  
九ツ過比迄相咄被帰候事、

但笑春院殿より肴一折被送候事、

一役所迄夕方より上村半兵衛殿・相良清兵衛殿入来ニ而  
候事、

一八ツ時分鎌田權右衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、  
一七ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十月廿八日、雨、庚辰 後晴、

一今日は月番小笠原轍殿方江頼遣出勤不致候事、

一八ツ後毛利理右衛門殿一刻入来ニ而候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被通候事、

一今晚桂岩次郎殿宅論語会読式夜ニ而候へとも、毛利氏  
差支ニ付取止候事、

一新正院屋敷内角野藤兵衛江借用申付置候場所、此節川  
烟源之助家作いたし度、藤兵衛江は内談いたし不差支  
段承届候旨を以願申出、相良氏より披露承候付願通被  
申付可然相達置候事、

十月廿九日、晴、辛巳、

一今日は(高津吉度)淨國院様百回忌御法事去ル十日被為濟候ニ付  
而御法楽御能有之、六ツ半過出勤席詰等相勤七ツ後相  
濟退出歸家、供川烟源之助ニ而候事、

但着服のし目・麻袴ニ而候事、

一夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十一月朔日、曇、壬午 間々雨、

一今日より月番ニ而四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退

出より歸家、供森田清九郎ニ而候事、

一留主ニ桂岩次郎殿入来之由候事、

一今朝鎌田政十郎殿一刻入来ニ而候事、

一今日より合月番嶋津要人殿ニ而候事、

一(鎌田政十)玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所へ山次左衛門代参申

付候事、

一七ツ後森川孫太夫殿入来、暮前迄相相咄(マ)被歸候事、

十一月二日、曇、癸未 間々雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より歸家、供山

次左衛門ニ而候事、

一濱田本覺院昨日南村より相歸候届申出候事、

一七ツ時分頼娃織部殿用談事ニ付一刻入来ニ而候事、

十一月三日、晴、甲申、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より歸家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一八ツ後家村平六殿一刻入来ニ而候事、

一七ツ時分鎌田政十郎殿入来、暫候而被歸候、尤組方一

番組書役代り有之、政十郎預ニ付頼娃織部殿兩人ニ而

セ話いたし候へとも、段々同役中より頼之趣有之、政

十郎義は差扣候而一番組藤野小兵衛別勤被仰付候、跡

代り清書掛書役四本三十郎繰り上、清書掛江い十院藤

助被仰付候筋内定ニ而候間、其段政十郎江相達置候事、

一大鐘過より森川孫八郎殿入来、夜入五ツ前迄相咄被帰

候事、

一 今晩山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 今晩役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 迫田甚五左衛門殿病氣ニ付使川畑源之助為尋差遣候事

十一月四日、雨、乙酉 七ツ前より止、

一 四ツ時早目出勤、

少将様御湯治先指宿二月田御茶屋一昨二日四ツ時分御

焼失ニ付、今日 少将様江之伺 御機嫌惣出仕被仰渡、

御一門方初追々登 城有之、左候而七ツ後御家老衆退

出ニ付帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 今晚上村半兵衛殿・相良清兵衛入来、酒肴一通振廻、

四ツ前比被帰候事、

十一月五日、曇、丙戌 間々晴、冬至昼九時八分

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森

田清九郎ニ而候事、

一 迫田甚五左衛門殿病氣ニ付見舞之使川畑源之助差遣、

重之内差遣候事、

一 大鐘過より飯牟禮八郎殿入来、酒肴一通振廻、五ツ半

比迄相咄被帰候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月六日、晴、丁亥、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より供山次左左

衛門ニ而候事、

一 八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 大鐘時分より鎌田佳藤太殿入来、夫より和田中太夫殿・相良清兵衛殿ニ茂追々入来、酒肴一通振廻、八ツ時分迄相咄被帰候事、

十一月七日、晴、戊子、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より園田與藤次殿宅江軍学入門として参り、尤此内より町田助太郎殿を以入門之義申入置候処、今日可参との事ニ而助太郎殿ニ茂被参居候、左候而誓詞血判相済、吸物一ツ・酒肴一通振廻有之、七ツ時分帰家、供角野藤兵衛ニ而候事、

但兩種前以相送候事、

一 月船様御正忌日ニ付、御位牌所江上下着用ニ而向香拝礼いたし、且興国寺墓所へ代参山次左衛門江上下着用ニ而申付候事、

一 大鐘時分より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿・相良清兵衛殿追々入来ニ而酒肴一通振廻、四ツ時分被帰

候事、

十一月八日、晴、己丑 朝立雨、昼より晴、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一 御か様未御平快無之候付、いし朝稻三益殿江申遣八ツ後見廻ニ而候事、

一 八ツ過榎本九八郎殿一刻入来ニ而候、尤ちと存寄之義有之、頼娃織部殿兩人より内通之趣有之右礼ニ而候事、一 暮前より桂岩次郎殿宅江論語会説式夜ニ付参り、毛利

理右衛門丈・長谷場助七殿来会四ツ時分帰家、供山次左衛門、後森田清九郎ニ而候事、

一 今日夏菊・茅植付いたし候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月九日、晴、庚寅、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出、夫より遠島者

為乗付方御当有之、七ッ前物頭御船奉行江申渡相濟婦家、供森田清九郎ニ而候事、

一 鎌田藤之丞殿より肴一折、森川孫八郎殿より田舎土産被送候事、

一 七ッ後森川孫八郎殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 大鐘時分より穎娃織部殿江参り同道いたし、川上式部

殿宅江招ニ付参り、合客木場次右衛門殿ニ而四ッ半時

分迄相咄帰家、供山次左衛門、後川畑源之助ニ而候事

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月十日、晴、辛卯、

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一 大鐘時分桂内記殿用向ニ付一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十一月十一日、晴、壬辰、八ッ後より雨、雷鳴

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出後暫御用有之、

右相濟八ッ半時分帰家、供角野藤兵衛ニ而候事、

一 今八ッ後俄雨降出し候処、下駄為持遣候義不行届候付、

役人休左衛門を以留主ニ罷居候者共一統叱置、向後方

端入念候様申付候事、

一 暮時分より鎌田權右衛門殿・青山善助殿追々入来、酒

肴一通振廻、四ッ時分迄相咄被帰候事、

一 野勢武右衛門殿江先日小掛物絵式枚書方相頼、出来ニ

付右礼として肴一折差遣候事、

十一月十二日、晴、癸巳、

一 今早朝より尾畔田辺

少将様御鷹野被遊候事、

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供森

田清九郎ニ而候事、

一 (鎌田正統) 高穩院様御正忌日、(鎌田正昌) 高章院様御忌日ニ付、御位牌所江

上下着用ニ而向香拝礼いたし候事、

一今朝鎌田藤之丞殿一刻入来ニ而候事、

一高穩院様御正忌日ニ付、七ツ後より上下着用ニ而南林

寺墓所江参詣、夫より鎌田愛太夫殿宅江招ニ付参り、

逢客小笠原轍殿・桂六郎次郎殿等ニ而四ツ時分帰家、

供森田清九郎、後山次左衛門ニ而候事、

但愛太夫殿江着一折相送候事、

一八ツ後鎌田藤次郎殿入来ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一南村より五度目之取納百拾俵程相届候事、

十一月十三日、晴、甲午 夜入少雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山

次左衛門ニ而候事、

一八ツ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被通

候事、

一暮前より二階堂主計殿宅江招ニ付参り、逢客嶋津清太

夫殿・赤山鞞負殿・中山次左衛門殿・高崎五郎右衛門

殿・迫田太次右衛門殿等ニ而候、左候而九ツ時分迄相

咄帰家、供山次左衛門、後川畑源之助ニ而候事、

十一月十四日、晴、乙未、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

一今朝鎌田政十郎殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ半比仁禮善左衛門殿入来、大鐘前迄相咄被帰候事、

一大鐘過大河平小左衛門殿一刻入来ニ而候事、

十一月十五日、晴、丙申、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出、遠島者御当有

之候付居残り、七ツ前首尾相済候而帰家、供角野藤兵

衛ニ而候事、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ過山本蘇仙参り御か様御針被成候事、

一拙者昨夕よりちと疝癩氣、且風邪塩梅ニ付前田圓心殿

江掛、薬ニ而服用いたし候事、

一番所詰南村より交代之森田清九郎代り、川口林之進今日出府之届申出土産物差出候事、

一南村庄屋竹之内平之進取納皆済、首尾として今日出府之届申出、土産物差出候事、

一七ツ後より役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一鼎当年七才ニ而ひも解ニ付、家中中吸物一ツ相居り心祝いたし候事、

一今朝永山清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月十六日、晴、丁酉、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森田清九郎ニ而候事、

一山次左左衛門事実父今晝病死之由、忌中之届申出候事、

一大鐘過より和田中太夫殿・堀直四郎殿・森川孫八郎殿・上村半兵衛殿・相良清兵衛殿追々入来、酒肴一通振

廻、九ツ時分迄相咄被帰候事、

一南村取納皆済首尾相成証文差出候段、役人休左衛門より届申出候事、

十一月十七日、晴、戊戌、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一明朝氏神祭ニ付、社内取始抹方申付候事、

一山次左左衛門忌中ニ付、官香一把悔として為取使遣候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月十八日、晴、己亥、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角野藤兵衛ニ而候事、

一今朝氏神祭ニ而例年之通、花棚村居住之神主國生直記父子晝より参り五ツ時祭り相済、拙者上下着用ニ而

拝礼いたし候事、

但役人休左衛門上下ニ而席詰いたし候事、

一今朝鎌田藤次郎殿入来、氏神江拝礼被致候事、

一祭相濟使者之間ニ而直記江吸物一ツ・酒肴・飯振廻、

役人亭主振いたし候事、

一氏神祭ニ付相招、七ツ時分より入来之人数、桂内記殿

・上村半兵衛殿・同源七殿・毛利理右衛門殿、左候而

吸物一ツ・覗ふた一ツ・さしミ、其外酒肴・飯一通振

廻、五ツ半比何れも被帰候事、

一役所江七ツ時分より相良清兵衛殿被参居候得共、家内

病人申来候由ニ而被帰内迄は不被通候事、

十一月十九日、晴、庚子、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

口林之進ニ而候事、

但合月番嶋津要人殿病氣ニ而入来院平馬殿今日より

代合ニ而候事、

一昨夕相良清兵衛殿娘夭亡之由、右ニ付重之内并ニ酒一

瓶相送、使川畑與八差遣候事、

一七ツ後山本蘇仙參り御か様被成御針候事、

一七ツ後毛利理右衛門殿一刻入来ニ而候事、

十一月廿日、晴、辛丑 今朝小寒入、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

畑源之助ニ而候事、

但小寒入ニ付 御内証之伺 御機嫌申上候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候事、

一八ツ後和田中大夫殿一刻入来ニ而候事、

一四ツ後留主ニ桂岩次郎殿入来之由候事、

一大鐘時分上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一大鐘時分より森川孫八郎殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

十一月廿一日、晴、壬寅、

一四ツ時早目出勤、四ツ後より御再聞ニ付、評定所江相

勤、左候而九ツ前帰家、供角野藤兵衛ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 桂内記殿宅江氏神祭ニ付参候様申来候へとも、風邪気

ニ而断申遣着一折相送候事、

十一月廿二日、雨、癸卯、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供森

田清九郎ニ而候事、

一 八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 八ツ過桂岩次郎殿入来、少跡より仁禮善左衛門殿入来、

七ツ半比迄相咄兩人共一所ニ被帰候事、

十一月廿三日、晴、甲辰 朝立少雨、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

口林之進ニ而候事、

一 山次左衛門事実父忌中ニ而候へとも、昨日迄一七日

相立候付、忌差免今日より出勤いたし候様、昨日可申

渡旨役人休左衛門江申付、今日より出勤いたし候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十一月廿四日、晴、乙巳、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

畑源之助、後山次左衛門ニ而候事、

一看経日ニ付濱田本覺院参り候事、

一 八ツ過仁禮善左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一 今晚五ツ半時分江戸より之中急飛脚染川次兵衛・池田

作右衛門到着候付、時付差出相受取候事、

一番所詰森田清九郎今日川口林之進江交代いたし、南村

之様相帰候付紙包為取候事、

十一月廿五日、晴、丙午 間々曇、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一 今日(勘平吉形)は 少将様犬追物御視有之候事、

一 泰心院様御忌日ニ付、南林寺墓所江川口林之進代參申(鎌田正方)

付候事、

一 嶋津清太夫殿宅法事申來候付野菜一折相送候事、

十一月廿六日、晴、丁未 間々曇、少雨、

一 四ツ時早目出勤、四ツ後より八ツ星別勤ニ而御兵具方

与力足輕弓術見分とし而、藥師は、稽古所へ伊勢雅樂

殿兩人出席、九ツ半比相濟歸家、供川口林之進ニ而候

事、

一 九ツ後財部傳左衛門殿一刻入來ニ而候、尤当月末中急

ニ而江戸立之筈故暇乞ニ而候事、

一 大鐘時分より和田源太兵衛殿入來、夜入酒肴一通振廻、

四ツ時分迄相咄被歸候事、

十一月廿七日、晴、戊申、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より歸家、供山

次左衛門ニ而候事、

一 大河平小左衛門殿先日病死之由ニ付、実弟飯牟禮八郎

殿・大河平彦六殿江為悔使差遣、官香一把相送候事、

一 大鐘時分より和田中太夫殿入來、且役所へ相良清兵衛

殿被參居、内江も被通酒肴一通振廻、九ツ時分迄相咄

被歸候事、

一 御か様未御平快無之候付、朝稻三益門弟へ申遣、田山

周庵七ツ後見廻ニ而候事、

一 祝井吉左衛門方江取繕頼入置候歩行具足五領今日出來

都而惣成就ニ而候事、

十一月廿八日、晴、己酉 朝少雪あゆる、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より歸家、供川

畑源之助ニ而候事、

一 七ツ後山本蘇仙參り御か様被成御針候事、

一 財部傳左衛門殿江明日中急ニ而出立ニ付、包煙草一斤、

肴一折(膳)殘別として相送、使角野藤兵衛ニ而候事、

一 一昨廿六日御兵具方与力・足輕弓術見分いたし候節二

天体之者兩人有之、右江弓弦三掛ツ、今日物頭取次を

以為取候処、銘々礼として玄喚迄見廻候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

一 鎌田藤次郎殿江一世差分高之内卷石此節可相返候付、

代金拾貫文程出呉候様相談承趣有之、用頼役人江も申

入吟味之上、拙者手本銀之内より金卷兩卷部式朱錢ニ

して拾貫三百拾式文差遣、右高卷石手元江取返候筋相

究明日役人休左衛門右金子持越首尾致答候事、

十一月廿九日、晴、庚戌、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十一月晦日、晴、辛亥、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

口林之進ニ而候事、

一 七ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 今日は犬追物 御視掛人数、谷山遠馬有之由ニ而、此

方馬上井甚兵衛借用ニ付遣候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被通候事、

十二月朔日、晴、壬子、

一 四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし帰家、供山次

左左衛門ニ而候事、

一 今朝永山良助殿煙草包持参被相通度との事候へとも、

仕廻掛故相断候事、

一 留主ニ永山清兵衛殿入来之由候事、

一 九ツ時分仁禮善左衛門殿入来、暫相咄候而被帰候事、

一 九ツ後鎌田愛太夫殿一刻入来ニ而候事、

一 八ツ後小森新藏殿一刻入来ニ而候事、

但去月廿八日新藏と名替之由候事、

一 七ツ後より桂内記殿入来、夫より和田中太夫殿・上村

半兵衛殿・相良清兵衛殿追々入来、酒肴一通振廻、四ツ時分何れも被帰候事、

一三女久事今日餅踏為致家内中心祝吸物相居り候事、

(蘇田政近)

一玄朗様御忌日ニ付、福昌寺墓所へ代参川口林之進江申

付候事、

一日當山郡見廻竹下莊右衛門狩夫銀上納ニ付役所迄参り土産物差出候事、

十二月二日、雨、癸丑朝五ツ過より止、  
後晴

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山次李

左衛門ニ而候事、

一今日 少将様此辺御鷹野被遊候事、

一七ツ後より桂六郎次郎殿入来、夫より和田中太夫殿江

申遣入来、酒肴一通振廻、九ツ過迄相咄兩人共被帰候

事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今日より役人濱田休左衛門病氣ニ而引入候事、

十二月三日、晴、甲寅、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より嶋津藤十郎

殿宅江同席中招ニ付参り、種々振廻等有之拙者共ニは

亭主振いたし、夜入五ツ時分帰家、供角野藤兵衛、後

川口林之進ニ而候事、

但同席相中より肴一折相送候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今日四ツ後より九ツ時迄之間御兵具方与力・足輕共鐘

術見分として御木屋場へ伊勢雅樂殿兩人出席いたし候

事、

十二月四日、晴、乙卯夜中より雨、  
今晚大寒入

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川

口林之進ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十二月五日、雨、丙辰、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老兼退出より帰家、供山次左  
左衛門ニ而候事、

一家内江病人有之、前田圓心殿江申遣二男圓節、拙者留  
主ニ入来ニ而候事、

一拙者留主ニ山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一今日は大寒入ニ付、(島津奇形)少将様江御内証之伺御機嫌申上

候事、

一七ツ後より桂六郎次郎殿入来、酒肴一通振廻、九ツ時

迄相咄被帰候事、

十二月六日、晴、丁巳、

一四ツ時早目出勤、四ツ後より演武館梅田勘十郎・加藤

權兵衛・田中太郎左衛門、武術不時見分として出席、

尤嶋津權五郎殿同道いたし候付、九ツ時見分相濟、權

五郎殿宅江一刻立寄、夫より知覧浜屋敷江同席中年忘

出張ニ付参り、左候而夜入過引取五ツ時分帰家、供川

畑源之助、後山次左左衛門ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、  
一今日 少将様御鷹野被遊候事、

十二月七日、晴、戊午、

一今日は支配下宅容貌見分日前ニ而四ツ時見分いたし、

小与一番より三番迄津曲三之助其外都合拾人見分、進

達掛相良一郎左衛門、書役四本三十郎出役ニ而候事、

一前件ニ付終日別勤ニ而候事、

一月船様御忌日ニ付奥国寺墓所へ川口林之進代参申付候

事、

一七ツ時分上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一大鐘時分より志和地源兵衛殿入来、暮前迄相咄被帰候

事、

一暮前より堀直四郎殿入来、夫より相良清兵衛殿ニ茂被

参酒肴一通振廻、四ツ過迄相咄被帰候事、

十二月八日、晴、己未、

一四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし、小笠原轍殿  
同道、末川久馬殿・川上東馬殿江寒中見廻いたし、夫  
より柏百喜所へ装束稽古能有之見物として御用人御役  
棧敷江参り、暮前未相済候へとも引取帰家、供川口林  
之進ニ而候事、

一今晚は桂岩次郎殿宅論語会読式夜ニ而候へとも、能帰  
り遅成候半と存相断置候事、

一夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十二月九日、曇、庚申 四ツ前より雪雨、

一四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供山  
次左衛門ニ而候事、

一今朝上村源七殿一刻見廻ニ而候事、

一今日は鎌倉流稽古遠馬有之吹聴承候へとも不得差越、

上井甚兵衛、拙者馬借用ニ付差遣今朝入来ニ而候事、

一八ツ後島津主税殿一刻見廻ニ而候事、

一七ツ後より小野郷右衛門殿入来ニ而暮前迄相咄被帰候

事、

一暮前より和田中太夫殿入来、酒肴一通振廻、四ツ半比  
迄相咄被帰候事、

一今日は (島津寄形) 少将様御鷹野被遊候事、

十二月十日、曇、辛酉、

一今朝四本三十郎殿一刻入来ニ而候事、

一出勤前相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし、喜入多門殿・

榊山伊織殿・島津石見殿江寒中尋とし而玄喚迄見廻、

堀四郎左衛門殿宅江一刻参り、夫より千眼寺島津中務

殿江玄喚迄寒中見廻いたし八ツ前帰家、供川畑源之助

ニ而候事、

一七ツ時分より森川孫太夫殿入来、暮前迄相咄被帰候事、

一暮前より桂内記殿入来、酒肴一通振廻、且役所江相良

清兵衛殿被参居、内江も被通九ツ時分内記殿ニは被帰、

清兵衛殿は八ツ時分迄相咄被帰候事、

十二月十一日、曇、壬戌、

一 今朝出勤前桂六郎次郎殿入来ニ而候事、

一 四ツ時早目出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

十二月十二日、曇、癸亥、

一 四ツ時早目出勤、四ツ後頼合御暇いたし、島津和泉殿

江寒中尋として納殿迄参り、夫より南林寺墓所江高章(録田)

院様・高穩院様御忌日ニ付参詣、夫より島津清太夫殿(録田)

宅江参り暫相咄、左候而島津將曹殿・二階堂主計殿江

寒中尋として内支喚迄参り、桂内記殿宅江一刻参り八

ツ時分帰家、供川口林之進ニ而候事、

一 相帰候処、堀四郎左衛門殿被参居暫相咄候而被帰候事、

一 七ツ時分より桂岩次郎殿入来、夫より同氏六郎次郎殿

ニも入来、酒肴振廻、且役所江相良清兵衛殿ニも被参

居、内江茂被通候而四ツ時分何れも一所ニ被帰候事、

十二月十三日、曇、甲子間々小雨、四ツ時分より強降、

一 今日は御煤下ケニ付星無之、月番迄出勤候付出勤不致

候事、

一 今朝仁禮善左衛門殿一刻入来ニ而候事、

一 四ツ後より島津清太夫殿・和田中太夫殿入来、夫より

桂内記殿ニも入来、八ツ過より頼娃織部殿入来、大鐘

過相良清兵衛殿ニ茂入来、尤吸物一ツ・酒肴・飯一通

振廻、四ツ時分より九ツ前迄之間追々被帰、清太夫殿

ニは被泊候事、

但今日は伊敷別業江年忘ニ付出張之筈候処、雨天ニ

付取止此方ニ而相咄候、右内記殿・織部殿ニは弁当

持参ニ而候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

十二月十四日、雨、乙丑、

一 夜前九ツ過より疝癢氣ニ而不快有之、今日は得出勤不

致頼遣候事、

一右ニ付、いし前田圓心殿江申遣、嫡子圓齋八ツ時分見

廻ニ而棄用いたし候事、

一今朝役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一今朝島津清太夫殿被帰候事、

一夕方鎌田曾兵衛殿、拙者病氣故内迄は不被通玄喚迄見

廻ニ而候事、

十二月十五日、曇、丙寅、

一今日迄も未快氣不致出勤不相叶頼遣候事、

一今朝相良清兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一昨十三日甲子祭ニ付今日濱田本覺院参り候事、

一八ツ後鎌田藤兵衛殿・同諸右衛門殿入来、暫候而被帰

候、尤諸右衛門殿御勘定所書役助川上式部殿江相頼置

候処、今日被仰付候由、右礼ニ而候事、

一大河平彦六殿御勘定所書役助名越右膳殿江相頼置候処

今日被仰付候由、拙者病氣故玄喚迄礼として被参候事、

一仁禮善左衛門殿明日より旅行之由、拙者病氣故玄喚迄

暇乞ニ被参候事、

一鼎ちと不快有之前田圓心殿江申遣、二男圓節見廻ニ而

拙者ニも療治相頼候事、

一今晚山本蘇仙参り、拙者針いたし候事、

一暮時分上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一今晚役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十二月十六日、曇、丁卯、

一今日も昨日同断出勤不致候事、

一今朝東郷孫八殿・永山清兵衛殿一刻ツ、入来ニ而候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一九ツ後鎌田藤之助殿一刻入来ニ而候事、

十二月十七日、曇、戊辰 間々雨、

一今日茂昨日同断出勤不致、且同席中谷山遠馬企有之候

へとも不快ニ付相断候事、

一八ツ後鎌田眞十郎殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方役所江相良清兵衛殿入来、内江茂一刻被通候事、  
一 島津權五郎殿江いしき屋敷之鯉約束いたし置候付、昨  
日二疋取寄候間今朝為持遣候事、

十二月十八日、雨、己巳、

一 今日は余程快候付床揚候へとも今朝迄は月代不相調不  
致出勤候而、昼時分月代いたし候事、

一 四ツ時分上村半兵衛殿一刻入来ニ而候事、

一 八ツ後毛利理右衛門殿入来、大鐘前迄相咄被帰候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十二月十九日、晴、庚午 八ツ前より曇、  
暮六ツ時曇、間々雨、

一 今日は全快程有之候へとも出勤は見合候事、

一 今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 役人濱田休左衛門、去ル二日より病氣ニ而引入今日よ

り出勤いたし候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今晚桂御祖母様被成御入来候事、

一 大鐘過青山善助殿入来、暮時分被帰候、尤内用向相談  
ニ而候事、

十二月廿日、晴、辛未、

一 今日迄は見合出勤不致候事、

一 一番組書役助四本三十郎殿江此方定紋付上下地一具今

朝差遣候処、早速礼として一刻入来ニ而候事、

一 家村平六殿江馬乗方相頼候礼并ニ歳暮旁として袴地袴

反今日相送候事、

一 一番組書役東郷孫八殿江袴地一反今日相送候事、

一 八ツ時分山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

十二月廿一日、曇、壬申 間々霰、

一 今日より四ツ時早目出勤いたし、八ツ後御家老衆退出

より帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一今晚山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一夕方役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一日當山組頭鶴丸宅右衛門寒中歳暮として役所迄参り、

兩種料二通土産物差出候事、

但寒晴候へとも右は前以断申出置候事、

十二月廿二日、雪、癸酉 今朝少積

一四ツ時より伊勢雅樂殿宅江参り、同道ニ而御兵具方与

力・足輕共鉄炮見分として須崎射場江出役九ツ前相濟、

夫より出勤いたし、八ツ後御家老方退出より川上龍衛

殿同道、二階堂主計殿宅江招ニ付参り、外ニ合客川上

式部殿にて夜入四ツ前迄相咄帰家、供川口林之進、後

山次左衛門ニ而候事、

一今日串木野并ニ市来江唐船式艘漂着之段追々之届、今

晚四ツ時分一度、七ツ時分一度、串木野より之届伊集

院より持届候付、異国船掛御家老衆江差出候筋ニ而、

唐船改堀與左衛門殿江為持遣、使川畑源之助ニ而候事、

一今晚鎌田圓窓殿入来之由、尤相頼置候仏像取繕出来持

参ニ而候事、

一今日例年之通煤下ヶ納殿川畑與八相勤候事、

十二月廿三日、曇、甲戌 間々雪

一四ツ時出勤掛中山次左衛門殿江用向有之一刻立寄、夫

より出勤、八ツ後御家老方退出より帰家、供角野藤兵

衛ニ而候事、

一今朝東郷孫八殿一刻入来ニ而候、尤先日袴地遣候礼ニ

而候事、

一八ツ後山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一上村半兵衛殿江煙草貳斤、嫡子源七殿江晒上下地老反

為歳暮相送候事、

一大鐘過より和田中太夫殿・鎌田喜平太殿・桂内記殿入

来酒肴一通振廻、且役所江相良清兵衛殿被参居、内江

も被通九ツ時分中太夫殿其外一所ニ被帰候事、

十二月廿四日、曇、乙亥、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より帰家、供川畑源之助ニ而候事、

一月被日ニ付濱田本覺院參候、尤鎌田圓窓殿江取繕相頼、

不働尊并ニ三十三番觀音出来候付、右被も今日日本覺院

江申付候事、

一八ツ過鎌田十五殿一刻入来、明日鎌倉流遠馬ニ付、此

方馬借用いたし度承候付可差遣返答いたし置候事、

一八ツ後より役所江相良清兵衛殿入来、内江も一刻被通

候事、

一今晚山本蘇仙參り御か様被成御針候事、

一今夜中長嶋其外諸々より唐船漂着之届有之相受取候事

十二月廿五日、晴、丙子、

一今朝上村源七殿一刻入来ニ而候、尤上下地遣候礼ニ而

候事、

一四ツ時出勤、四ツ後頼合御暇ニ而島津孝岐殿宅江歳暮

旁ニ付參り、夫より興国寺・福昌寺墓所并ニ延寿堂江

參詣、左候而名越右膳殿江大河平彦六御勘定所書役助相頼置、先日願達いたし候礼とし而玄喚迄參り八ツ前

帰家、供川口林之進ニ而候事、

一今日鎌倉流遠馬吹聴一昨日申来候へとも不差越、馬は

鎌田十五殿今朝入来ニ而乗被參候事、

一暮前より上村半兵衛殿入来、且役所江相良清兵衛殿被

參居、内江も被通候而酒肴一通振廻、四ツ時分兩人共

被帰候事、

一夕方山本蘇仙參り御か様被成御針候事、

一南村与頭森田十左衛門歳暮ニ付今朝出府、且下代田嶋

直助勘定ニ付出府、森田郷左衛門柝掛受ニ付出府之届

申出候事、

十二月廿六日、曇、丁丑、

一四ツ時出勤、八ツ後御家老衆退出より暫御用有之居残

り左候而帰家、供山次左衛門ニ而候事、

一 相良清兵衛殿江無銘刀一腰、白木鞘入歳暮旁ニ付相送候事、

一 八ッ過より役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 南村森田十左衛門并ニ外兩人より銘々土産物差出候事

一 千眼寺より此内歳暮品到来ニ付、今日此方より野菜一

折相送候事、

一 相良清兵衛殿・鎌田喜平太殿江謝礼米壹石ッ、相送候

事、

十二月廿七日、曇、戊寅 四ッ時分より雨  
後止

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出より帰家、供角

野藤兵衛ニ而候事、

一 八ッ後より役所江相良清兵衛殿入来ニ而内江も一刻被

通候事、

一 夕方山本蘇仙参り御か様被成御針候事、

一 今朝相良清兵衛殿入来ニ而候、尤南村柙掛森田郷左衛門誓詞申付、於役所清兵衛被見届、御受之礼として両

種料三百文差出候事、

一 今朝南村組頭森田十左衛門招呼南村中仕置之儀、尤二才共諸稽古等セ話いたし候様申付候事、

一 四ッ時早目出勤、八ッ後御家老衆退出より税所普門院

殿一昨日病死ニ付、笑春院殿江悔とし而見廻、且税所

源左衛門殿実兄ニ付源左衛門殿江も同断見廻夫より帰

家、供山次左衛門ニ而候事、

一 留主ニ毛利理右衛門殿入来之由候事、

一 妙国寺無参和尚より先日歳暮品被送候付、今日此方よ

り野菜一折相送候事、

一 市田右近殿方へ遣有之候吉田大原抱地取返し之相談、

相良清兵衛より伊集院伊右衛門を以今日申入置候事、

一 今日老岐殿より御側御用人冷木清八取次を以左之通承

知いたし候、

十二月廿八日、晴、己卯 四ッ時分少雨、

鎌田刑部家来

御納戸支配  
御鉄炮機師掛  
大迫庄太郎

右は御鉄炮機師被仰付御扶持米三石六斗為取之候事、

右可申渡旨御納戸奉行江可申渡候、

十二月 巻岐

一 大鐘過小森新藏殿・同新之丞殿一刻入来ニ而候事、

一 暮前より和田中大夫殿入来、且役所江相良清兵衛殿・

鎌田喜平太殿入来ニ而夜入内江も被通、酒肴一通振廻、

八ツ時分三人共被帰候事、

一 七ツ後桂岩次郎殿一刻入来ニ而候事、

十二月廿九日、曇、庚辰 間々小雨

一 今日は終日別勤之筋頼合候而出勤不致候事、

一 今朝役所迄相良清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今朝永山清兵衛殿入来ニ而候事、

一 今朝湯地甚之丞殿入来ニ而候事、

一 先日より歳暮品諸々江遣、且到来いたし候へとも繁多

ニ付銘々不相記候事、

一 役人濱田休左衛門江着下り袴一ツ為取候事、

一 八ツ半比より鎌田喜平太殿入来、役所向セ話被致候、

夜入相良清兵衛殿ニ茂入来同断セ話被致、且内江も一

刻被通候事、

一 八ツ後四本三十郎殿一刻入来ニ而候事、

一 夕方有川藤左衛門殿・東郷孫八殿・鎌田吉左衛門殿入

来ニ而候事、

一 今晚上村半兵衛殿入来、酒肴一通振廻、暫相咄候而被

帰候事、

一 今晚九ツ時分迄ニ而役所諸弘等茂相济候届承、当年中

目出度記納候事、

鹿児島県史料編さん関係者

顧問

国立国会図書館  
客員調査員

大久保利謙

前早稲田大学教授

竹内理三

東京大学  
史料編纂所所長

高木昭作

委員

桃園恵真

四本健光

田島秀隆

芳本即正

五味克夫

桑波田興

原口哲哉

安藤保

館長

井之口恒雄

副館長

塩田亨

調査史料課長

島中彬

大平義行

徳永和喜

田嶋みちる

浜平公和

山下久代

伊集院祐子

松木智子

齊藤聖子

鹿 児 島 県 史 料

鎌田正純日記 二

---

平成元年12月1日印刷

非売品

平成2年1月22日発行

編 集 鹿 児 島 県 歴 史 資 料 セ ン タ ー 黎 明 館

発 行 鹿 児 島 県

印刷所 合名会社 文尚堂印刷所

〒892 鹿 児 島 市 西 千 石 町 1 - 8

---